



立秋も過ぎ暑さの中にも秋の気配を感じる今日この頃です。なんと夢風は今号が記念すべき 50 号となりました。今号では、夏期休業中に行われた中学生一日体験入学を中心にお伝えしていきます。これからも夢風を応援してください。

*夢風カラー版(PDF ファイル)→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp/>

*ご意見・ご感想(電子メール)→ yumekaze@toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp



ニュース News



中学生一日体験入学

8月6日、中学生一日体験入学を実施しました。今年度も昨年に引き続き 1500 名を超える申し込みがあり、中学生や保護者、中学校教員の皆様方から高い関心を寄せて頂いているという事を改めて実感しました。

体験入学の内容としては、体育館での全体説明(総合学科の説明、学校行事・部活動紹介)、本校2年生による体験授業、部活動・施設見学が行われました。

体験授業では、「産業社会と人間」の科目説明を、本校生徒が2人1組となってプレゼンテーションしました。「産業社会と人間」とは、企業や大学の見学、社会性のあるテーマについての新聞作り、理想の人物像調べ、そして10年後の自分を想像したライフプランの作成等を通して、社会の中で自分は何をしたいか、つまり豊田東高校のテーマである「夢」を探す授業です。本校生徒達は、自分が探した「夢」と、その実現に向けて作成したライフプランを中学生の皆さんに発表すると共に、「東高の1日」では登校の様子や大きなカバンを持って教室移動の様子をわかりやすく説明しながら、より豊田東高校を知ってもらおうと工夫を凝らした授業を展開しました。発表を体験した生徒は「退屈しないわかりやすい授業をする難しさを実感した」、「中学生が真剣に聞いてくれたのでとてもうれしかった」と感想を述べており、今回の体験は発表生徒にとっても意義あるものになりました。



参加した中学生からは「自分でプランを決めているので充実しているように感じた」や「発表者のプレゼンがすごい迫力で良かった」という感想があり、保護者の方からは「来年の今頃、自分の子どももあんな風に成長してほしいと願いました」というご意見もいただきました。体験入学へのご参加、そして貴重なご意見ありがとうございました。

森の健康診断スタート

本校はこれまでもSPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)を活用し、外部研究機関と連携した調査研究を通して矢作川の環境問題を考えてきました。今年度は「持続可能な社会を考える～矢作川流域の人工林の健康診断～」と題して、自然と人間との共生をテーマに研究に取り組んでいます。8月7日には2年生理プラン17人が森林ボランティアの方の指導を受けて足助地区桑田和町の民有林へ地主さんとともに入り、現地調査を行いました。今後は調査だけでなく、名古屋大学や東京大学と連携した講義や野外見学も行われ、最終報告として、来年2月に行われる総合発表会や矢作川学校ミニシンポジウム等で発表する予定です。



Welcome Emma to Toyota Higashi High school.

9月から来年6月までの約10ヶ月、豊田ロータリークラブによる国際交流の一環として、スイスからの留学生エマ・エリザベス・リトルジョンさんをお迎えすることになり、2学期の始業式で紹介されました。エマさんはこれまでにスペイン、ポルトガル、イタリア、イギリスなど多くの国を訪ねており、スイスではドイツ語やフランス語の勉強をしていたそうです。今回の留学では日本語をマスターすることが目標だそうですから、ぜひエマさんを見かけたら美しい日本語で話しかけてあげましょう。



部活動の風景 Scenery of Club Activities

夏休み中にもさまざまな公式戦やコンクールが行われ、生徒たちが大活躍しました。

始業式の後に行われた壮行会では、愛知県総合選手権大会に出場が決定した女子ソフトテニス部の2名、県大会への出場が決まった水泳部女子1名、愛知県代表として中部日本吹奏楽コンクール本大会への出場が決まった吹奏楽部が、校長先生や生徒会長からの激励の言葉、そして全校生徒からの大きな拍手を受けました。それに応じて出場生徒は「平日頃の練習の成果が発揮できるように、がんばってきます。」と大会への意気込みを語りました。



各部活動の大会結果は、豊田東高校のホームページをご覧ください。